

飛鳥資料館冬期企画展のご紹介

発掘調査速報展

「飛鳥の考古学2006」

平成19年1月16日(火)～2月25日(日)

飛鳥地域では、高松塚古墳やキトラ古墳の調査が多くの人々の関心を集めていますが、近年、飛鳥京跡や石神遺跡などにおいても発掘調査が進み、注目すべき新事実の発見が続いています。

飛鳥京跡の内郭中枢では、巨大な正殿の北でもそれと同規模の建物遺構が発見され、中枢部の建物配置がほぼ確定しました。

石神遺跡では、「観世音経」と記された木簡が出土し、年号のあるものとしては最古のものとして重要な発見となりました。

また、昨年度では石舞台古墳の隣接地や、島庄遺跡、甘樫丘などの蘇我氏にかかわるとみられる調査がおこなわれ、大きな話題を呼びました。

飛鳥資料館では、こうした最新の発掘調査の内容を広くご紹介するため、このたび、「飛鳥の考古学2006」と題し、平成17年度の飛鳥地域の発掘調査速報展の開催を企画致しました。

本企画展では、当研究所および明日香村教育委員会の成果に加え、橿原考古学研究所、高取町教育委員会の協力の下、飛鳥京跡や観音寺遺跡の発掘成果も交えて、飛鳥地域の貴重な資料を展示いたします。

なお、飛鳥資料館では毎年冬期こうした発掘調査速報展を開催することで、今後も飛鳥地域の発掘調査の最新情報をいち早く公開したいと考えています。
(飛鳥資料館 清永 洋平)



石神遺跡出土人形

記 録

埋蔵文化財担当者研修

遺物観察調査課程

平成18年9月4日～9月29日 14名

遺跡地図情報課程

平成18年10月24日～27日 16名

自然科学的年代決定法課程

平成18年11月14日～17日 10名

古代集落遺跡調査課程

平成18年11月27日～12月1日 12名

中近世城郭調査課程

平成18年12月12日～19日 22名

発掘調査・現地説明会・現場公開

飛鳥藤原第142次・144次(藤原宮朝堂院東第四堂)の現地説明会

平成18年9月30日(土) 515名

平城第404・410次(西大寺旧境内食堂院跡及び北辺坊)の現地説明会

平成18年10月7日(土) 900名

飛鳥寺講堂跡の現場公開

平成18年11月14日(火)～16日(木) 2077名

平城第401次(平城宮跡東院地区)の現地説明会

平成18年12月9日(土) 445名

公開講演会

平成18年10月28日(土) 午後1時30分～

於：平城宮跡資料館講堂

「明治・大正・昭和の住まいと文化財」

西田 紀子 都城発掘調査部研究員

「木簡調査の100年 - 全国出土木簡の追跡から」

山本 崇 都城発掘調査部研究員

飛鳥資料館秋期特別展示

展示 「飛鳥の金工 海獣葡萄鏡の諸相」

平成18年10月14日(土)～11月26日(日)

記念講演会

於：飛鳥資料館講堂

平成18年10月21日(土)

「海獣葡萄鏡について」

杉山 洋 飛鳥資料館学芸室長

平成18年10月28日(土)

「伯牙弹琴鏡 - 唐と日本で好まれた鏡 - 」

植松 勇介 國學院大學日本文化研究所

共同研究員

編集 「奈文研ニュース」 編集委員会

発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.go.jp>

Eメール jimu@nabunken.go.jp

発行年月 2006年12月